

# 子どもの目線に立つ 2020<第1弾>

子どもたち誰一人取り残すことなく、最大限に学びを保障していくために

各学校において、万全の新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、子どもたちの健やかな学びを保障することが重要な課題となっています。

令和2年度全国学力・学習状況調査は中止となりましたが、調査問題には、学習指導要領の理念・目標・内容等に基づき、学習指導上特に重視される点や身に付けるべき力等を具体的に示すメッセージが盛り込まれています。そこで、児童生徒や教員の負担に配慮した上で、調査問題等を有効に活用し、指導の改善・充実に役立てることが大切になります。

本資料では、問題等の活用例を示すとともに、これまで本県の課題として取り上げ指導改善を促してきた内容に係る問題を示しています。これらの問題については、関連する単元の学習において取り上げるなど、内容の定着状況を見届け、継続的な指導改善サイクルの確立を図っていくことが大切です。

児童生徒質問紙調査は、例年と同様に「朝食を毎日食べている」といった家庭生活や、「自分には、よいところがあると思う」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う」など、学校の学習・生活の諸側面に関する内容について問うています。都合のよい時期・時間帯に実施し、新型コロナウイルス感染症対策により例年とは異なる生活を過ごしている児童生徒の意識や状況を的確に捉え、個に応じたきめ細かな支援を行うことが必要です。

なお、質問紙調査（学校質問紙調査を含む、一部の設問のみ可）を実施した学校については、回答結果の提供に御協力をお願いします。県全体の傾向を捉え、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図っていきたいと考えています。



# 全国学力・学習状況調査の問題冊子等の活用例

## ■ 教科に関する調査

	完全実施	一部実施	授業活用	教員研修
利点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学年や学級全体、個の学力・学習状況を把握し、課題に応じた指導を行うことができる。</li> <li>○学習指導上特に重視される点や身に付けるべき力を理解し、今後の指導の方向性を見出すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○これまで課題となっていた内容等についての定着状況を把握し、課題に応じた指導を行うことができる。</li> <li>○これまでの指導改善の成果と課題を捉えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒の実態に応じて、速やかに個別の支援をすることができる。</li> <li>○関連単元の学習指導上特に重視される点や身に付けるべき力を理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○求められている学力を理解し、指導改善の方向性の共通理解を図ることにより、各学年において授業改善に生かすことができる。</li> </ul>
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日を決め、マニュアルに沿って実施する。</li> <li>※問題を指定し、複数日に分けて実施することも考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組む問題を指定して短時間で実施する。</li> <li>※授業の一部の時間を使い、複数回に分けて実施することも考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題の対象となる単元を確認し、授業の中で練習問題等として取扱い、必要に応じて解説する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員が問題を解き、問題から具体的な取組を決める研修会をもつ。</li> </ul>
採点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解答を解答類型に分け、問題ごとに正答率を出す。</li> <li>※担任だけでなく、教員全体で協力して取り組むと効果的である。</li> <li>※児童生徒に解答を配付して自己採点をさせることも考えられる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・解答を示して自己採点をさせたり、正答について仲間と話し合わせたりする。</li> <li>※関連問題を家庭で取り組ませて見届けることも考えられる。</li> </ul>	
分析方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正答率の低い問題について誤答の分析を行い、課題を明らかにする。</li> <li>・これまでの学校の課題が改善されているか把握し、指導改善の方向性を明確にする。</li> <li>※「集計支援ツール」を活用すると、問題別調査結果や個人票を作成することができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年で指導改善の方向性について共通理解を図る。</li> </ul>
<p>※解説資料（国立教育政策研究所）から、出題の趣旨、領域・内容（学年）、評価の観点、解答類型、関連する問題等を捉え、分析に生かす。</p>				
フィードバック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人票を一人一人に配付する。</li> <li>・課題に応じて、補充的な学習や発展的な学習を行う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に応じて、補充的な学習や発展的な学習を行う。</li> </ul>	

## ■ 質問紙調査〈児童生徒質問紙・学校質問紙〉

	完全実施	一部実施
利点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○例年とは異なる生活を過ごしている児童生徒の意識や状況を的確に捉え、個に応じたきめ細かな支援を行うことができる。</li> <li>○児童生徒の状況や学校全体の取組を経年比較して、指導改善の方向性を見出すことができる。</li> <li>※家庭で記入させて回収する方法も考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○例年とは異なる生活を過ごしている児童生徒の意識や状況について、内容絞って状況を捉え、個に応じたきめ細かな支援を行うことができる。</li> <li>○これまで課題であった内容等について経年比較して、指導改善の方向性を見出すことができる。</li> </ul>
<p>※児童生徒質問紙調査：小学校「<b>6</b>5年生までに受けた授業について」を「6年生7月までの授業について」、中学校「<b>6</b>1、2年生のとき受けた授業について」→「3年生7月までの授業について」に読み替えて問うことによって、コロナ対策による授業への影響について捉えることができる。</p>		